

空なる情念世界からヒトガタの闇へ

信州伊那谷—神々が棲む深き谷で
無数のヒトガタと共に暮らす一人の傀儡女
飯田美千香の妖しく可憐な幻想世界



《劇団紹介》

【百鬼ゆめひな】

2010 年、信州伊那谷にて創設。等身大人形や仮面などを遣うと同時に遣い手自身も演技者として舞台に加わる独特の表現形態で舞台活動を展開。セリフをつかず、音楽、所作、舞のみによって構成される舞台表現はヨーロッパで絶賛された師匠、故岡本芳一によって創作された既成のジャンルに属さない独自のスタイルである。

【飯田美千香・プロフィール】

鹿児島出身。どんどろ流人形遣い。1997 年 百鬼どんどろ入団。98 年「緋色の海の幻」で黒衣として初舞台。99 年「子供三番叟」初演。どんどろ欧州ツアーにてオフプログラム参加。2001 年「雛がたり」発表。02 年「猫姫くぐつ舞」、05 年「化性」と、オリジナルソロ作品を発表し国内外で公演。06 年独立、劇団「人形舞台 yumehina」結成、拠点を東京へ移す。07 年「笹法子」で作・演出を担当し新境地へ。国内およびドイツで上演。10 年春、劇団解散。拠点を信州伊那谷に戻す。同年岡本芳一の没後、屋号を「百鬼ゆめひな」として、改装したどんどろアトリエを拠点に活動再開。11 年厄祓と幸福祈願を込めた新しい神楽舞「障遣願舞 宇津神楽」発表。現在南信州を中心に好評上演中。どんどろ流を継承しながら、女性ならではの感性を織り込んで、美しさ妖しさの中、どこか母性を感じさせる独自の世界を舞台上に展開する。

<http://www.yumehina.net/>

演目 「雛がたり」

もう、お雛様がお急ぎ…

闇の中に浮かび上がる雛壇

幼い頃母と一緒に祝った雛祭り

母を懐かしんで

お雛様に託した淡い夢と憧れに包まれて

ひとりの女が雛人形達と永遠に時の流れを彷徨う…

一人劇 上演時間 約 50 分 【R15】=観劇可能な年齢の目安

泉鏡花の短編「雛がたり」と岡本かの子の「狂童女の恋」をベースに作り上げた幻想美あふれる詩的な作品。

一体の美しい「少女（等身大人形）」と「母（オカメ）」と「女（黒衣）」の三人の女達が歪んだ時間を紡ぎだす。

作・潤色・人形、面製作・出演	飯田美千香
脚色・雛人形・小道具	岡本芳一
音構成	尾林真理
照明	浅川 環
特殊美術・舞台監督	渡辺数憲
オブジェ	染谷みち子
宣伝美術・写真	伊藤 敦
制作	百鬼ゆめひな

3月22日（木）19:30 / 23日（金）19:30

※開場は開演の30分前

※22日、アフタートークあり

■チケットは、劇場窓口・電話・劇場HPでお求めいただけます。

◎せんがわ劇場チケットサービス

劇場窓口・電話（9:00～19:00） ※休館日：第3月曜日

劇場HP <http://www.sengawa-gekijo.jp/>

（携帯電話からの予約も可能。QRコードあり）

（劇場窓口で発券＝手数料なし、セブンイレブンで発券＝手数料あり）



■料金

一般＝前売 3,000 円・当日 3,500 円

調布市市民割引（市内在住・在勤）＝前売 2,500 円・当日 3,000 円 ※当日、要証明書

学生（大学生以下）＝前売 1,500 円・当日 2,000 円 ※当日、要学生証

●全席自由。開場時に、チケットの番号順にご入場いただけます。

●当日券は、販売しない場合があります。劇場まで当日お問い合わせください。

■セットチケット（劇場窓口にて取り扱い・前売のみ）

劇場公演3枚セット（組合せ自由）7,500 円

※3名でご利用いただけます。人形演劇祭"inochi"の下記の演目との組合せも可能。

“モノ語り◇水仙月の四日” 3月15日（木）19:30 / 16日（金）19:30 / 17日（土）15:30

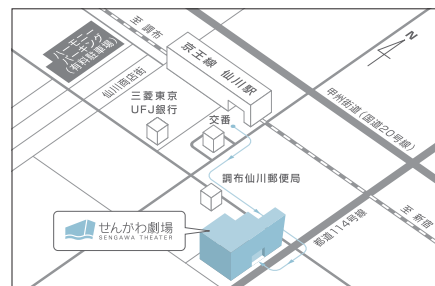
“精霊幻想” 3月18日（日）15:30

【お問合せ】

調布市せんがわ劇場フェスティバル事業実行委員会（調布市せんがわ劇場内）

〒182-0002 東京都調布市仙川町 1-21-5 TEL 03-3300-0611 FAX 03-3300-0614

劇場HP <http://www.sengawa-gekijo.jp/>



【アクセス】

京王線新宿駅より快速で20分、各駅停車で25分

（特急・準特急・急行・通勤快速は停車しません）

仙川駅より徒歩4分

※車でのご来場：近隣の有料駐車場へ。

せんがわ劇場には障がい者用駐車場1台のみあり。

※自転車・バイクでご来場…せんがわ劇場裏側

搬入口に専用駐輪スペースあり。